

2021（令和3）年度 事業報告書

公益財団法人日本ハンドボール協会

1. 競技力向上に関する事業

1) 強化関連会議・施策など

- (1) 強化委員会 12回/年 (Zoom 会議)
- 東京2020オリンピック実施
 - 2021 年度各カテゴリー国際大会派遣検討
 - 2022 年度強化スタッフを選定 (強化・情報科学・体力科学・医事委員会との協働)
 - 2022 年度強化スケジュールを作成
 - 2021 年度「JOC 強化指定選手」第2 四半期～第4 四半期の選出、JOC への提出
 - 2022 年度「JOC 強化指定選手」第1 四半期の選出、JOC への提出
 - 「選手強化・育成サポートシステム」導入検討開始→2022 年度継続
- (2) 協働コンサルテーション会議 (スポーツ庁・JSC・JOC・JHA) 2 回/年
- 「2020・24 強化戦略プラン」を改訂し、スポーツ庁・JSC・JOC と共有
- (3) 東京2020強化ミーティング (JOC 主催) 6回/年
- 新型コロナウイルス感染症対策に関して競技間での情報共有
 - 東京2020オリンピックに向けた準備状況の情報共有他

2) 国際大会・国際交流親善試合

チーム名	大会名	日 程	場 所	結 果
男子ユース U-18	第9 回男子ユースアジア 選手権	06/05- 06/17	カザフスタン	*開催中止
男子代表	JAPAN CUP 2021	07/18	山梨県甲州市	vs フランス ●32-47
女子代表	JAPAN CUP 2021	07/19	山梨県甲州市	vs フランス ●20-41
男子代表	第32 回オリンピック 競技大会 (2020/東京)	07/24- 08/08	東京都	優勝:FRA 2 位:DEN 3 位:ESP 11 位:JPN
女子代表	第32 回オリンピック 競技大会 (2020/東京)	07/24- 08/08	東京都	優勝:FRA 2 位:RUS(OC) 3 位:NOR 12 位:JPN
女子代表	第18 回女子アジア選手権	09/15- 09/25	ヨルダン	優勝:KOR 2 位:JPN 3 位:KAZ
女子代表	第25 回女子世界選手権	11/29- 12/19	スペイン	優勝:NOR 2 位:FRA 3 位:DEN 11 位:JPN
男子代表	第20 回男子アジア選手権	01/18- 01/31	サウジアラビア	優勝:QAT 2 位:BHR 3 位:SAU ※出場辞退 (新型コロナウイルス 感染症の感染者発生のため)
女子ジュニア U-20	第16 回女子ジュニア アジア選手権	03/07- 03/14	カザフスタン	優勝:IND 2 位:IRI 3 位:KAZ ※出場辞退 (新型コロナウイルス 感染症拡大のため)
女子ユース U-18	第9 回女子ユース アジア選手権	03/18- 03/25	カザフスタン	優勝:IRI 2 位:KAZ 3 位:UZB ※出場辞退 (新型コロナウイルス 感染症拡大のため)

3) 海外強化合宿

チーム名	事業名	日 程	場 所	参加人数計 (選手、スタッフ)
女子代表	第1 回欧州遠征	05/12-06/08	デンマーク	30 名 (選手23 名、スタッフ7 名)
女子代表	第2 回欧州遠征	11/29-11/28	ハンガリー	29 名 (選手20 名、スタッフ9 名)
男子代表	第1 回欧州遠征	12/26-01/04	ポーランド	28 名 (選手20 名、スタッフ8 名)

4) 国内強化合宿（男女代表）

チーム名	事業名	日 程	場 所	参加人数（役員・選手）
男子代表	第2回強化合宿	4/12 - 5/1	ANTC	34名（選手21名、スタッフ13名）
	第3回強化合宿	5/1 - 5/29	ANTC	34名（選手20名、スタッフ14名）
	第4回強化合宿	6/7 - 6/26	ANTC	35名（選手21名、スタッフ14名）
	第5回強化合宿	7/5 - 7/21	ANTC	29名（選手15名、スタッフ14名）
	第6回強化合宿	12/15 - 12/26	ANTC	36名（選手22名、スタッフ14名）
女子代表	第1回強化合宿	4/5 - 4/25	ANTC	31名（選手23名、スタッフ8名）
	第2回強化合宿	6/29 - 7/22	ANTC	27名（選手19名、スタッフ8名）
	第3回強化合宿	9/7 - 9/10	ANTC	20名（選手14名、スタッフ6名）
	第4回強化合宿	10/24 - 10/26	石川県	37名（選手31名、スタッフ6名）
	第5回強化合宿	11/16 - 11/18	ANTC	25名（選手17名、スタッフ8名）

5) 国内強化合宿（男女アンダー代表）

チーム名	事業名	日 程	場 所	参加人数（役員・選手）
男子ジュニア 男子ユース	新しい生活様式 での選手強化	10/3 - 12/19	オンライン	77名（選手53名、スタッフ24名）
女子ジュニア U-20	第1回強化合宿	11/25-11/28	愛知県	31名（選手24名、スタッフ6名）
男子ユース U-19	第1回強化合宿	12/8-12/11	愛知県	31名（選手26名、スタッフ5名）
男子 U-21	第1回強化合宿	3/14-3/18	ANTC	30名（選手24名、スタッフ6名）

6) その他

事業名	日 程	場 所	参加人数
トレーナーブロック長会議	2/12	オンライン	13名
トレーナー総会	会議実績なし		
情報科学専門委員会全体会議	会議実績なし		
体力科学専門委員会全体会議	5月	メール会議・電話会議	5名
	8月	メール会議・対面会議	3名
	12月	メール会議・対面会議	3名
	2月	メール会議・電話会議	5名

7) 日本代表チーム

(1) 男子日本代表

東京オリンピックに向け新型コロナウイルス感染症のため海外遠征を回避し、国内での合宿を実施し強化を進めてきた。東京オリンピックでは欧州の強豪国であるポルトガルに勝利するなど強化の成果を見せたが、得失点差により準々決勝に残ることができず最終順位11位

（12チーム中）となった。12月より新たなチームにてアジア選手権に挑むため国内合宿及び欧州遠征にて強化を進めたが、欧州遠征中に選手・スタッフに新型コロナ感染者が出てしまい、アジア選手権出場を辞退した。選手・スタッフは日本に帰国し、強制待機及び自主待機期間を経て所属チームに無事戻ることとなった。

(2) 女子日本代表

2016年6月以来、強豪国デンマーク出身のウルリック・キルケリー監督のもと、東京オリンピックへ向けた強化を推進してきた。コロナ禍の影響で、強化活動の軸である欧州遠征や国際試合の実施機会が大幅に制限されたこともあり、東京オリンピックでは最終順位12位(12チーム中)であったものの、モンテネグロとの接戦を制し、45年ぶりのオリンピックでの勝ち星を残した。

9月にはコロナ禍で延期となっていた女子アジア選手権がヨルダンで開催され、日本は古橋幹夫監督のもと準優勝(11チーム中)。世界選手権への出場権を得た。

10月には楠本繁生監督が就任し、12月にスペインで開催された女子世界選手権に出場。オーストリアやクロアチアなどに勝利し、最終順位11位(32チーム中)の好成績を収めた。

2022年度も引き続き楠本監督のもとアジア競技大会へ向けた強化活動を行う。

8) アンダーカテゴリー

(1) 男子アンダー日本代表

2021年度開催予定であった第23回男子ジュニア世界選手権及び第9回男子ユース世界選手権が中止となったため、2022年度男子ジュニアアジア選手権、男子ユースアジア選手権に向けて活動を実施。感染症拡大により、オンライン(Zoom)にてミーティング(トレーニング方法・栄養・アンチ・ドーピング・戦術理解など)実施。強化合宿は12月にユース、3月にジュニアが実施した。

(2) 女子アンダー日本代表

延期となっていた女子ジュニアアジア選手権の開催が3月に決定し、活動を開始した。11月に合宿を行い女子ジュニアアジア選手権出場の準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、女子ジュニアアジア選手権の出場を辞退した。

9) 分析活動(情報科学専門委員会)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アンダーカテゴリーチームの活動が縮小、または中止となった。男女ジュニア代表チームの活動は、下記の通りである。また、分析活動のDX化にも挑戦し、遠隔地での分析サポートを行う方法の構築を行った。

(1) 男子日本代表

担当アナリストが東京オリンピックの国内合宿に帯同し、練習時・トレーニングマッチ時の量的・質的分析をおこない、チーム力向上を目的としたスタッフ・選手のコミュニケーションを活性化するデータの提供を行った。活動内容としては、トレーニング中の映像撮影による選手へのフィードバックや戦術の理解、個々のスキル改善等、多岐に渡り実施した。

第20回アジア選手権への事前国内合宿およびポーランドでの海外強化合宿に担当アナリストが帯同し、これまで同様に、チーム力向上にむけた資料作成のため練習及びトレーニングマッチ時の量的・質的分析を行った。

(2) 女子日本代表

担当アナリストが東京オリンピックの海外・国内合宿に帯同し、練習時・トレーニングマッチ時の量的・質的分析をおこない、チーム力向上を目的としたスタッフ・選手のコミュニケーションを活性化するデータの提供を行った。加えて、大阪大学と共同し、練習及び試合(公式戦も含む)時に心拍数の管理を行い、効果的なウォーミングアップ強度の管理も行った。

東京オリンピック直後に開催された第18回アジア選手権および12月に開催された第25回世界選手権とこれら大会前の国内合宿に担当アナリストが参加し、トレーニング中の映像撮影による選手へのフィードバックや戦術の理解、個々のスキル改善等などのための資料を作成しチーム力向上に貢献した。

(3) アナリストチーム

東京オリンピック大会期間中には、男女それぞれの担当アナリストの他に、4名のアナリストを ANTC に集合させ、男女チームおよびそれぞれの対戦相手チームの量・質的分析をより高度に、より詳細に行い、自チームの状況や対戦相手チームの状況についてそれぞれのチームの担当者アナリストおよび監督・コーチに情報提供を行った。

また、第 25 回女子世界選手権では、4名のアナリストがオンラインを用いて集合し、日本が行っている試合のライブ分析を行い、その量・質的な分析情報をリアルタイムに現地のアナリストへ提供した。

今年度は、従来まで帯同する担当アナリスト 1 名に過大な負担を強いていた業務を試合現場にいない数名のアナリストが対面およびオンラインといった 2 つの手法を用いてサポートするという体制ができ、従来よりも効率的な分析を行い、より高度な情報をより短時間に提供することのできる体制を構築することができた。

10) 体力サポート活動（体力科学専門委員会）

本委員会の体力向上事業は、J-star プロジェクト、NTS ブロックトレーニング、NTS センタートレーニング、NTA（アカデミー）参加選手、アンダーカテゴリー代表選手の体力データベース作成・基準づくり・現場運用である。2017 年度から継続している新体力テスト測定事業は今年度で 5 年目を迎えたが、2020 年 1 月より世界的に流行した新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の体力科学委員会事業はそのほとんどが中止（事業停止）となった。今年度の体力委員会活動として、本委員会が直接関与している J-star プロジェクト報告、過去 4 年間のジュニア選手体力レベルに関する分析、および海外体力関連（文献等）のレビュー分析の 3 点を以下に概説する。

なお、体力科学委員会からの成果物として、J-star プロジェクトにおける体力向上事業報告を J-star 委員会に提出した。内容は、4 期生体力測定の結果、体力評価報告、5 期生選出のための体力基準値等であった。また、NTS チャレンジトレーニングでは、選手から提出された自己申告による体力データを本委員会で纏め、NTS 委員会へ体力測定結果および体力評価報告を行なった。

- (1) 2021 年度ジャパンライジングスタープロジェクト（J-star）における体力向上事業：
競技転向型のタレント選手（4 期生）の体力向上事業は、専門測定会から検証合宿まで 1 年間にわたって実施された。対象が中学生年代の選手であったことから、ハンドボール基礎技術トレーニングと併行して体力トレーニング指導も実施され、本委員会専門測定員による体力測定会も開催された。同事業では、本協会と日本スポーツ振興センターが連携し、体力測定内容（選手選考内容）の検討、専門測定員による体力測定評価、結果検証、トレーニング活用が協議されていることも申し添える。
- (2) 2021 年度 NTS・NTA トレーニングでの体力測定と体力基準づくり：
本委員会ではこれまで指導・育成・普及委員会の NTS・NTA 担当と連携し、NTS 全国ブロックトレーニング、NTA 合宿トレーニング時に体力測定会を行ってきており、本委員会の中心的な事業となっていた。しかし今年度も、感染症流行の影響により NTS ブロック・センターの各集合トレーニングが中止され、また NTA の活動もオンライントレーニングに変更された。このため、今年度の NTS・NTA における対面的な体力サポート事業は実施されなかった。代替事業として実施された NTS チャレンジトレーニング（全国トライアウト）では、選手の自己申告による体力データが得られたために、本委員会でその提出されたデータの分析・評価を実施した。本報告書は強化本部へ提出された。
- (3) 海外体力関連（文献等）のレビュー分析：
海外分析チームによって、主に海外プレーヤーと国内選手の形態・体力比較分析を行った。2019 年、2021 年の男子世界選手権および 2021 年に開催された 2020 東京オリンピックにおける公式記録から、身長・体重等の形態データを抽出し、海外選手と国内代表選手の相違点を検討した。本報告書は強化本部へ提出された。

本委員会の体力向上事業は、特にジュニア選手の新体力データベース作成・基準づくり・現場運用である。2017年度から継続している新体力テスト測定事業は今年度で4年目を迎え、現在までに計2,497名（NTA、NTS、J-star）のジュニア選手の体力値を保有し、ビッグデータとしての価値を高めている。トレーナビリティが期待されるジュニア期（主に11歳から17歳まで）の体力について把握し、その性別・年齢別に規準グレードを示すことは、適切な選手育成とチーム力強化に寄与すると思われる。しかしながら、2020年1月より世界的に流行した新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の体力科学専門委員会事業はそのほとんどが中止（事業停止）となった。

11) 医事活動および医科学調査研究（医事専門委員会）

(1) コンディショニングクリニック

男子代表・第2回強化合宿 2021年4月12日～5月1日（ANTC）

女子代表・第1回強化合宿 2021年4月5日～4月25日（ANTC）

- ・体力・筋力測定
- ・アンチ・ドーピング研修
- ・メンタル指導
- ・行動規範指導

(2) 国際大会・国際交流親善試合（トレーナー・ドクター帯同派遣）

男子代表

・JAPAN CUP 2021 2021年7月18日（山梨県・甲州市）

・第32回オリンピック競技大会 2021年7月24日～8月8日（東京都）

女子代表

・JAPAN CUP 2021 2021年7月19日（山梨県・甲州市）

・第32回オリンピック競技大会 2021年7月24日～8月8日（東京都）

・第18回女子アジア選手権 2021年9月15日～9月25日（ヨルダン）

・第25回女子世界選手権 2021年11月29日～12月19日（スペイン）

(3) 強化合宿・海外遠征（トレーナー帯同派遣）

男子代表

・第2回強化合宿 2021年4月12日～5月1日（ANTC）

・第3回強化合宿 2021年5月10日～5月29日（ANTC・福島市は中止）

・第4回強化合宿 2021年6月7日～6月26日（ANTC）

・第5回強化合宿 2021年7月5日～7月21日（ANTC）

・第6回強化合宿 2021年12月15日～12月26日（ANTC）

・第1回欧州遠征 2021年12月26日～2022年1月4日（ポーランド）

女子代表

・第1回強化合宿 2021年4月5日～4月25日（ANTC）

・第2回強化合宿 2021年6月29日～7月22日（ANTC）

・第3回強化合宿 2021年9月7日～9月10日（ANTC）

・第4回強化合宿 2021年10月24日～10月26日（石川県）

・第5回強化合宿 2021年11月16日～11月18日（ANTC）

・第1回欧州遠征 2021年5月12日～6月8日（デンマーク）

・第2回欧州遠征 2021年11月19日～11月28日（ハンガリー）

男子 U-21

・第1回強化合宿 2022年3月14日～3月18日（ANTC）

男子 U-19

・第1回強化合宿 2021年12月8日～12月11日（愛知県）

女子 U-20

・第1回強化合宿 2021年11月25日～11月28日（愛知県）

2. 指導・普及事業

1) <発掘部>

《NTS委員会》

ナショナルトレーニングシステム (NTS)

実施時期	概要	場所
4/24 (土)	第1回運営会議	Web会議
11/28 (日)	第2回運営会議	Web会議
2/1 (火) ~ 2/28 (月)	チャレンジトレーニング 合計 296 名 U16 男子 88 名、U16 女子 51 名、U13 男子 105 名、U13 女子 52 名	Web

《アカデミー委員会》

ナショナルトレーニングアカデミー (NTA)

実施時期	概要	場所
5/29	リモートトレーニング テスト① 参加者：スタッフ 5 名選手 50 名 計 55 名	Web
5/30	リモートトレーニング テスト② 参加者：スタッフ 5 名選手 49 名 計 54 名	Web
5/31	第1回リモートトレーニング 参加者：スタッフ 15 名選手 68 名 計 83 名	Web
6/21	第2回リモートトレーニング 参加者：スタッフ 15 名選手 56 名 計 71 名	Web
9/6	第3回リモートトレーニング 参加者：スタッフ 15 名選手 56 名 計 71 名	Web
10/4	第4回リモートトレーニング 参加者：スタッフ 15 名選手 45 名 計 60 名	Web
11/1	第5回リモートトレーニング 参加者：スタッフ 15 名選手 36 名 計 51 名	Web
12/6	第6回リモートトレーニング 参加者：スタッフ 15 名選手 52 名 計 67 名	Web
2/7	第7回リモートトレーニング 参加者：スタッフ 15 名選手 35 名 計 50 名	Web
3/7	第8回リモートトレーニング 参加者：スタッフ 15 名選手 35 名 計 50 名	Web

《キャラバン委員会》

ナショナルトレーニングキャラバン (NCa) コロナ禍により活動実績なし

《発掘委員会》

ジャパン・ライジング・スタープロジェクト (J-STAR プロジェクト)

(1) 実行委員会

実施時期	概要	場所
4/26	第1回実行委員会 委員/参加者人数 7 名、事務局 1 名	Web会議
5/24	第2回実行委員会 委員/参加者人数 7 名、事務局 1 名	Web会議
6/28	第3回実行委員会 委員/参加者人数 5 名、事務局 1 名	Web会議
7/26	第4回実行委員会 委員/参加者人数 6 名、事務局 1 名	Web会議
8/20	第5回実行委員会 委員/参加者人数 8 名、事務局 1 名	Web会議
9/14	第6回実行委員会 委員/参加者人数 7 名、事務局 1 名	Web会議
10/12	第7回実行委員会 委員/参加者人数 6 名、事務局 1 名	Web会議
11/12	第8回実行委員会 委員/参加者人数 6 名、事務局 1 名	Web会議
12/10	第9回実行委員会 委員/参加者人数 8 名、事務局 1 名	Web会議
12/29	第10回実行委員会 委員/参加者人数 9 名、事務局 1 名	Web会議
1/18	第11回実行委員会 委員/参加者人数 6 名、事務局 1 名	Web会議
2/22	第12回実行委員会 委員/参加者人数 7 名、事務局 1 名	Web会議
3/15	第13回実行委員会 委員/参加者人数 6 名、事務局 1 名	Web会議

(2) 合宿

1	検証合宿 1	2021年6月18日～21日	仙台大	スタッフ12名・選手3名
2	検証合宿 2	2021年8月19日～22日	札幌国際大	中止
3	検証合宿 3	2021年9月3日～5日	福岡大	中止
4	検証合宿 4	2021年10月29日～31日	東京理科大	スタッフ12名・選手3名
5	検証合宿 5	2021年11月12日～14日	福岡大	スタッフ12名・選手3名
6	検証合宿 5	2021年12月3日～5日	中京大	スタッフ6名・選手3名
7	検証合宿 6	2021年12月10日～12日	札幌国際大	スタッフ8名・選手3名
8	検証合宿 7	2021年12月26日～29日	仙台大	スタッフ11名・選手3名

(3) リモートトレーニング

1.	オンライントレーニング 1	2021年6月24日17:00～	スタッフ3名・選手3名
2.	オンライントレーニング 2	2021年6月30日17:00～	スタッフ3名・選手3名
3.	オンライントレーニング 3	2021年7月15日17:00～	スタッフ3名・選手3名
4.	オンライントレーニング 4	2021年7月21日17:00～	スタッフ3名・選手3名
5.	オンライントレーニング 5	2021年8月18日17:00～	スタッフ3名・選手3名
6.	オンライントレーニング 6	2021年8月25日17:00～	スタッフ3名・選手3名
7.	オンライントレーニング 7	2021年9月8日17:00～	スタッフ3名・選手3名
8.	オンライントレーニング 8	2021年9月22日17:00～	スタッフ3名・選手3名
9.	オンライントレーニング 9	2021年10月6日17:00～	スタッフ3名・選手3名
10.	オンライントレーニング 10	2021年10月20日17:00～	スタッフ3名・選手3名
11.	オンライントレーニング 11	2021年11月24日17:00～	スタッフ3名・選手3名
12.	オンライントレーニング 12	2022年1月19日17:00～	スタッフ3名・選手3名
13.	オンライントレーニング 13	2022年2月1日17:00～	スタッフ3名・選手3名
14.	オンライントレーニング 14	2022年2月16日17:00～	スタッフ3名・選手3名

2) <指導部>

<<指導委員会>>

(1) 指導者組織・資格関連

1 公認コーチ養成講習会専門科目講習会

コーチ3

6/25・26	愛知県豊田市	スタッフ9名	受講者51名	(オンライン実施)
6/27・28	愛知県豊田市	スタッフ9名	受講者51名	//
2/18・19	東京都港区	スタッフ8名	受講者46名	//
2/20・21	東京都港区	スタッフ8名	受講者49名	//

専門科目合格者 197名

スタートコーチ

6/23	沖縄県	10名	7/3	三重県	20名
7/4	静岡県	13名	7/10	北海道①	24名
8/3	石川県	19名	8/16	埼玉県	20名
10/10	高知県	9名	10/31	広島県	28名
11/20	北海道②	20名	11/21	青森県	28名
11/23	愛知県	37名	11/23	和歌山県	11名
11/28	東京都	26名	1/23	福岡県	15名
2/6	京都府	62名	2/13	関東学連	86名
中止	滋賀県	0	中止	愛媛県	0

計 18計画 16実施 合格者 428名

2 公認コーチ養成講習会免除適応コース専門科目検定試験

期日：2/5・6

場所：Web講習会 受講者：29名

- 3 全国指導委員長連絡会議
期日：2/23・26・27 場所：W e b 会議 参加者：39 名

3) <普及部>

《学校体育専門委員会》

- (1) 第 1 回学校体育専門委員会 開催見送り
(2) 第 24 回ハンドボール研究集会 開催見送り
(3) 第 2 回ハンドボール授業実践研修会 開催見送り

《マスタース専門委員会》

- (1) 第 29 回全日本マスタース交流型大会 及び 11人制大会 8/6-8
(2) 第 5 回全日本マスタースハンドボール 京田辺大会（シニアの部） 12/18-19
(3) 2021 年度マスタース中央委員会
第 1 回全国委員会 2021 年 8 月 6 日（金） 会場：一宮市総合体育館会議室
第 2 回全国委員会 2022 年 3 月 6 日（日） 会場：ブラザー体育館会議室
（全国委員はリモートにて参加）

4) <育成部>

《小学生専門委員会》

- (1) 第 1 回小学生専門委員会 期日：4/18 W e b 会議
(2) 第 2 回小学生専門委員会 期日：7/25 W e b 会議
(3) 第 34 回全国小学生大会 期日：7/29-8/1 京都府京田辺市他
(4) 第 3 回小学生専門委員会 期日：9/5 W e b 会議
(5) 第 4 回小学生専門委員会 期日：11/7 W e b 会議
(6) 第 5 回小学生専門委員会 期日：12/12 W e b 会議
(7) 第 6 回小学生専門委員会 期日：3/20 W e b 会議
(8) 第 9 回全国 U-12 指導者研修会 中止

《中学生専門委員会》

- (1) 第 1 回中学生専門委員会 期日：8/21 埼玉県さいたま市
(2) 第 2 回中学生専門委員会 期日：12/25 徳島県徳島市
(3) 第 3 回中学生専門委員会 期日：3/26 富山県氷見市
(4) 第 12 回全国中学生クラブチームカップ 期日：8/12-15 大阪府堺市他
(5) 第 50 回全国中学校大会 期日：8/23-25 埼玉県さいたま市
(6) 第 30 回 J O C ジュニアオリンピックカップ 期日：12/23-26 徳島県徳島市
(7) 第 17 回春の全国中学生選手権大会 期日：3/26-29 富山県氷見市
(8) 第 1 回中学生専門委員会クラブ部会 期日：2/8 W e b 会議
(9) 第 2 回中学生専門委員会クラブ部会 期日：2/22 W e b 会議

3. 競技運営に関する事業

1. 主要大会の管理・運営 (斜体は国際大会)

月	大会名	開催日程	開催地	結果
4月	第6回男女アジアビーチゲームズ	4/2～4/10	中国	開催延期・日程未定
6月	第9回男子ユースアジア選手権	6/5～6/17	カザフスタン・アルマトイ	開催中止
7月	第41回全国クラブ選手権大会・西地区大会	7/3～7/4	愛媛県・山鹿市	【男子】1: Union 大分、2: 日本製鉄 呉、3: アローズ高知 【女子】1: 宜野湾ガスクラブ、2: ninfa・kagoshima
	JAPAN CUP 2021	7/18・19	山梨県・甲州市	【男子】フランス代表 41-20 日本代表 【女子】フランス代表 47-32 日本代表
	第32回オリンピック競技大会 (2020/東京)	7/24-8/9	東京都・渋谷区	【男子】1: フランス、2: デンマーク、3: スペイン 日本代表 11 位 【女子】1: フランス、2: ロシアOC、3: ノルウェー 日本代表 12 位
8月	第34回全国小学生大会	7/29-8/1	京都府・京田辺市 田辺中央体育館他	【男子】1: 豊里 HC、2: HC 宮田、3: 北陸電力ジュニアブルーロケッツ (福井県)、薪ハンドボールクラブ (京都府) 【女子】1: ハンドボールクラブ市川、2: 下郡ハンドボールスポーツ少年団、3 位: 当尾 HC、岩国レインボー・キッズ
	第29回全日本マスターズ大会 (交流型、11人制)	8/6-8	愛知県・一宮市	【11人制】 1: チーム D 横浜平沼マスターズ・神楽坂フェニックス・ミュンヘン 2: チーム A HC 名古屋 ATF-A・HC 名古屋 ATF-B
	第26回ジャパンオープントーナメント・栃木国体リハーサル大会	8/11-14	栃木県・栃木市他	開催中止
	第12回全国中学生クラブチームカップ	8/12-15	大阪府・堺市	【男子】1: ブレسد名古屋Jr ハンドボールクラブ、2: HC 岡山ユース、3: クラウドセブン、HC 福間 【女子】1: 大阪ジュニアクラブ、2: 米子ジュニア ハンドボールクラブ、3: 霧島クラブ、ブレسد名古屋 Jr ハンドボールクラブ
	高松宮記念杯 第72回全日本高校選手権大会	8/16-21	福井県・福井市、永平寺町	【男子】1: 徳山商工高、2: 中部大学春日丘高 3: 駿台甲府高、大体大浪商高 【女子】1: 名古屋経済大市邨高、2: 那覇西、3: 洛北高、国分中央高
	第50回全国中学校大会	8/23-25	埼玉県・さいたま市、富士見市	【男子】1: 東久留米市立西中、2: 氷見市立北部中、3: 川口市立戸塚中、名古屋市立扇台中 【女子】1: 東久留米市立西中、2: 名古屋市立滝ノ水中、3: 氷見市立十三中、昭和学院中
9月	第76回国民体育大会	9/25-29	三重県・鈴鹿市他	開催中止
	第8回女子ユース世界選手権	9/29-10/11	クロアチア	開催中止

10月	第23回全日本ビーチハンドボール選手権大会	10/30	愛知県・碧南市	【男子】1:シースター東海、2:熱砂、3:碧南と浜松と内藤 【女子】1:SWAG、2:KUNOICHI、3:Thetis 東京A
11月	高松宮記念杯 男子第64回女子第57回 全日本学生選手権	11/6-10	山梨県・甲府市、甲州市	【男子】1:中央大学、2:大阪体育大学、3:日本体育大学、筑波大学 【女子】1:大阪体育大学、2:東京女子体育大学、3:国土館大学、日本体育大学
	文部科学大臣杯第19回 日本車椅子競技大会	11/9-10	福岡県・北九州市	開催中止
12月	第73回日本選手権大会 (男子の部)	12/2-6	大阪府・堺市	1:豊田合成、2:大崎電気、3:湧永製薬、ジークスター東京
	第25回女子世界選手権	12/1-19	スペイン	1:ノルウェー 2:フランス 3:デンマーク 日本 11位
	第5回全日本マスターズ 京田辺大会(シニアの部) ※ワールドマスターズゲームズ2021 関西プレ大会は延期	12/18-19	京都府・京田辺市	
	第48回全国高等専門学校選手権大会 (※新日程)	12/22-23	岩手県・盛岡市	1:徳山工業高等専門学校、2:豊田工業高等専門学校、3:高知工業高等専門学校、福井工業高等専門学校
	第30回JOCジュニアオリンピックカップ	12/23-26	徳島県・徳島市他	【男子】1:東京都選抜、2:茨城県選抜、3:埼玉県選抜、富山県選抜 【女子】1:東京都選抜、2:愛知県選抜、3:茨城県選抜、京都府選抜
1月	第73回日本選手権大会 (女子の部)	1/5-9	熊本県・山鹿市	1:北國銀行、2:イズミメイプルレッズ、3:オムロン、大阪体育大学
	第20回 男子アジア選手権	1/18-31	サウジアラビア	日本不参加
2月	全日本社会人 チャレンジ2022	2/11-13	福井県・永平寺町	1:ブレスド名古屋、2:豊田合成アブレイズ、3:HC金沢、栃の葉クラブ
3月	第16回女子ジュニア アジア選手権	3/7-14	カザフスタン・アルマトイ	日本は不参加
	第9回女子ユース アジア選手権	3/18-25	カザフスタン・アルマトイ	日本は不参加
	第46回 日本リーグプレーオフ	3/18-20	東京都・調布市	男子1:豊田合成 2:トヨタ車体 3:大崎電気 女子1:北國銀行 2:オムロン 3:イズミメイプルレッズ
	第2回アジア男子ユース ビーチ選手権	3/22-28	イラン・テヘラン	日本は不参加
	第8回アジア男子ビーチ 選手権	3/22-28	イラン・テヘラン	日本は不参加
	第17回 春の全国中学生選手権 大会	3/26-29	富山県・氷見市ふれあいスポーツセンター他	【男子】1:浦添市立神森中、2:つくば市立手代木中、3:大体大浪商中、京田辺市立大住中 【女子】1:高石市立高南中、2:氷見市立十三中、3:宇土市立鶴城中、東久留米市立西中
	第45回全国高等学校 選抜大会 Presented by MIZUNO	3/24-29	愛知県・豊田市、岡崎市、名古屋市	【男子】1:香川中央高、2:北陸高、3:大体大浪商高、愛知高 【女子】1:洛北高、2:小松市立高、3:高岡向陵高、大同大大同高

その他事業

- JHA 主催大会のうち、日本選手権及び春の全国中学生大会の大会運営並びに競技運営並びに支援にあたった。また、JAPANCUP2021 の大会運営の他、コロナ感染症対策並びに大会運営支援を全国小学生、全国中学生クラブカップ、JOCジュニアオリンピック、高校選抜、春の中学生大会など JHA 主催大会において積極的に実施した。
- JHA 競技ハンドブックを発行し、競技運営に関する周知を図った。また、2022 年度版について、東京オリンピックで得たノウハウを基に、改訂版を発行した。審判長と共同で具体的なMO・TDの任務にも言及、事例研究も数多く掲載し、内容の見直し直しを図った。
- 競技役員の資質向上のための講習会について
 - 7月 栃木ジャパンオープン：中止
 - 10月 栃木国体：中止
 - 3月 富山県氷見市：春中にて実施
- 10月 第81回国民スポーツ大会(令和7(2025)年度)正規視察(宮崎県)を実施した。
- 6月、10月、2月の3回実施予定の競技運営連絡協議会については、感染症拡大の影響で、対面での会議を中止し、メール審議とした。
- 東京オリンピック NTO (LSK・LTD16名、及びスカウティング 16名) 32名の派遣を行った。また、大会期間中において、NTO の配置、運営を IHF、組織委員会とともに行った。NTO、組織委員会メンバーは日本協会事務局、審判委員会、情報委員会、東京都協会、熊本県協会等の協力を得て派遣いただき、無事任務を遂行することができた。
- コロナウイルス感染症対策のガイドライン第3版を医事委員会の協力のもと作成、公開した。
- 松脂なしボールの規程改正に合わせて、モルテン社、ミカサ社から新規格のボールについて、規格認定申請があり、競技用具検定規程・用具規格に基づき審査を行い、認定した。

4. 審判に関する事業

1) 主な事業 (斜体は国際大会)

月	事業名	開催日・期間	開催地	概要および実績
4	第1回審判部会 ブロック長・連盟長合同会議	4/11	リモート	出席者：競技本部長、審判委員長、審判総務、ブロック審判長、連盟審判長 年度内事業の確認
	全国審判長研修会	4/17	リモート	出席者：68名 レフェリーハンドブック解説、審判部組織について
	テクニカルオフィシャル研修会	4/18	リモート	出席者：82名 MO/TD ハンドブック解説、事例研修
6	第2回審判部会 ブロック長・連盟長合同会議	6/5	リモート	出席者：競技本部長・審判委員長、審判総務、ブロック審判長、連盟審判長 上半期事業について確認
	第1回競技規則研究専門委員会、審判指導専門委員会、視聴覚専門委員会合同会議	6/20	リモート	出席者：審判本部長、各専門委員会委員長、各連盟サポートスタッフ 全日本大会派遣についての打ち合わせ
	関東地区 B 級審査会	6/25-27	群馬県	受験者 19名、審査員 5名
7	九州地区 B 級審査会	7/3	熊本県	受験生 5名、審査員 2名
	JAPANCUP2021 (男女フランス戦)	7/18-19	山梨県	TD: JHA より 2名 開催地より 2名 レフェリー: JHA より 2ペア派遣
	競技規則研究委員・審判指導委員派遣 (全国小学生大会)	7/28-30	京都府	競技規則研究委員および審判指導委員を派遣
	東京 2020	7/24-8/8	東京都	国内競技役員として 32名参加

8	競技規則研究委員・審判指導委員派遣 (全国高校総体)	8/14-18	福井県	競技規則研究委員を派遣
	競技規則研究委員・審判指導委員派遣 (全国中学校大会)	8/22-25	埼玉県	競技規則研究委員および審判指導委員を派遣
9	東地区 A 級審査会	9/5、19、 26	埼玉県	受験者 17 名、審査員 3 名
	第 3 回審判部会 ブロック長・連盟長合同会議	9/25	リモート	出席者：競技本部長、審判委員長、審判総務、ブロック審判長、連盟審判長 下半期事業について確認
10	中地区 A 級審査会	10/9、10、 23	京都府 大阪府	受験者 15 名、審査員 4 名
	近畿ブロック B 級審査会	10/9-10	京都府 大阪府	受験者 14 名、審査員 4 名
	東北ブロック AB 級審査会	10/9-10	秋田県	受験者 A 級 3 名 B 級 6 名、審査員 2 名
	四国ブロック B 級審査会	10/17	徳島県	受験者 6 名、審査員 2 名
11	次世代レフェリー研修会	11/4-9	山梨県	受験者 32 名、講師 14 名、運営 2 名
	東海ブロック B 級審査会	11/7、21	三重県	受験者 8 名、審査員 3 名
	九州ブロック B 級審査会	11/13	熊本県	受験者 2 名、審査員 2 名
	西地区 A 級審査会	11/13-14	鹿児島県	受験者 11 名、審査員 2 名
	北信越ブロック B 級審査会	11/27-28	石川県	受験者 6 名、審査員 2 名
	中四国ブロック B 級審査会	11/27-28	広島県	受験者 14 名、審査員 3 名
12	第 2 回競技規則研究専門委員会、審判指導専門委員会、視聴覚専門委員会合同会	12/4	大阪府	出席者：審判本部長、各専門委員会委員長、各連盟サポートスタッフ 2022 年度に向けたワーキンググループ会議
	第 4 回審判部会	12/5	大阪府	出席者：競技本部長、審判本部長、各専門委員会委員長 各専門委員会活動内容の確認、合同委員会議題
	全国審判長研修会	12/18	リモート	出席者：審判本部合同委員会メンバー、各都道府県審判長 新規の概要説明
1	第 5 回審判部会	1/16	リモート	競技・審判本部長、審判委員長・審判総務他 審判合同会議に向けての打ち合わせ
	第 20 回 男子アジア選手権	1/18-31	サウジアラビア	TD として 1 名派遣
	レフェリーアカデミー	1/23	リモート	受講生 9 名、指導者 2 名
	審判本部合同委員会	1/30	リモート	競技・審判本部長、各専門委員会委員長、ブロック審判長、連盟審判長、審判総務委員
2	レフェリーアカデミー	2/26-27	愛知県 豊田市	受講生 7 名、指導者 6 名
3	レフェリーアカデミー	3/19-20	東京都	受講生 9 名、指導者 3 名
	第 3 回競技規則研究専門委員会、審判指導専門委員会、視聴覚専門委員会合同会	3/19-20	東京都	出席者：審判本部長、各専門委員会委員会、各連盟サポートスタッフ 2022 年度に向けたワーキンググループ会議

2) その他の事業

- (1) 文書の発送受付ならびに各種登録、会場手配、交通費算出、マイハンドボール登録関係（総務専門委員会）
- (2) 審判研修用資料の企画・制作（審査指導専門委員会、競技規則研究専門委員会、ビーチハンドボール審判専門委員会）
- (3) 各全日本大会における審判技術の実態把握（競技本部長、審判本部長、連盟審判長、ブロック審判長）
- (4) 国際情報収集と競技規則書（インドア、ビーチ）他解説書等の作成（競技規則研究専門委員会、視聴覚専門委員会）
- (5) 他本部・委員会等との連携強化（競技本部長、審判本部長）

3) A/B級公認審判員審査結果

	令和元(2019)年度		令和2(2020)年度		令和3(2021)年度	
	A 級	B 級	A 級	B 級	A 級	B 級
審査申請者	51名	85名	15名	26名	46名	83名
書類不備	0名	0名	0名	0名	0名	0名
欠席	4名	4名	0名	5名	0名	5名
筆記試験不合格	11名	4名	0名	5名	2名	10名
実技試験不合格	29名	14名	8名	6名	28名	10名
体力試験不合格	9名	0名	0名	1名	体力試験実施なし	
合格者	15名	63名	7名	12名	17名	58名

※令和3(2021)年度
 A級：筆記・実技ともに不合格者1名
 B級：筆記・実技ともに不合格者0名

4) 公認審判員登録状況 ()内は女性

級	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
終身	77名 (2名)	61名 (3名)	41名 (1名)
国際	12名 (2名)	12名 (1名)	13名 (1名)
A 級	337名 (17名)	275名 (15名)	248名 (14名)
B 級	432名 (29名)	358名 (30名)	313名 (18名)
C 級	1,009名 (184名)	589名 (117名)	602名 (83名)
D 級	1,675名 (313名)	966名 (242名)	1,234名 (281名)
等級未設定			454名 (80名)
計	3,566名 (547名)	2,261名 (408名)	2,905名 (478名)

※令和4(2022)年1月15日現在

5. 国際に関する事業

1) 日本代表チーム・役員・レフェリー等の派遣及び海外チーム招聘等に関する事業

日程	カテゴリー/参加者	大会名称	開催地
7月	男子代表・女子代表	東京 2020 オリンピック競技大会	東京都・渋谷区
9月	女子代表	第 18 回女子アジア選手権	ヨルダン・アンマン
12月	女子代表	第 25 回女子世界選手権	スペイン・バルセロナ
	男子代表	4 Nations Cup	ポーランド・グダンスク
1月	男子代表	第 20 回男子アジア選手権	サウジアラビア・ダンマン

2) 国際会議等ならびに派遣に関する事業

(1) IHF 関係

- 1 第 38 回 IHF 総会 (11/6-7 WEB 会議)
- 2 IHF 会長、事務局長、委員長と東京 2020 期間中のミーティング (8/4)
- 3 FCH (フォーラム・クラブ・ハンドボール) とのミーティング (9/28)
- 4 IHF 理事会などの議事内容の翻訳作業を実施した。
- 5 第 25 回女子世界選手権への代表チームの派遣業務の連絡調整を実施した。
- 6 IHF に関する事務的なエントリー手続き・諸連絡を実施した。

(2) AHF 関係

- 1 第 23 回 AHF 総会 (11/5 web 会議)
- 2 各カテゴリーのアジア選手権の開催時期変更に対応した。
- 3 AHF 会議議題・議事録の翻訳作業を実施した。

6. 大会運営に関する事業

1) 第 73 回日本ハンドボール選手権大会

女子代表が第 25 回世界選手権 (スペイン) に出場することで代表チームの強化を優先するため、女子の部の日程を変更して男女別開催とした。
男子の部は 12/1~12/5 の間で大阪協会、女子の部は 2022 年 1/5~1/9 の間で熊本県協会への委託方式を取り、開催を実施した。

2) 第 17 回春の全国中学生選手権大会

全国より、男子 47 チーム女子 46 チームが参加したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今大会は制限付き有観客での開催を実施した。
また、全試合を YouTube 「春中ハンド氷見市実行委員会 公式チャンネル」にて録画配信し、最終日の準決勝・決勝はライブ配信を行った。

3) 第 45 回全国高等学校選抜大会

新型コロナウイルス感染症拡大により、本大会への出場予選であるブロック予選が出来ない状況となったため、本大会への出場条件を都道府県の 1 位チームとし、開催地と県内 100 校枠を加えて大会を実施した。男子 49 チーム、女子 49 チームの参加であった。
また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、制限付き有観客対応とし、全試合 YouTube にてライブ動画配信を行った。

4) ビーチハンドボール専門委員会

(1) 年間行事

イベント名	日程	場所
第 23 回全日本ビーチハンドボール選手権大会	10/23	愛知県・碧南市
結果 【男子】優勝：シースター東海、準優勝：熱砂、3位：碧南と浜松と内藤 【女子】優勝：SWAG、準優勝：KUNOICHI、3位：Thetis 東京 A		

(2) 延期となっていた、渋谷区でのショーケースは開催ギリギリまで準備を進めていましたが、コロナの感染拡大を受け、スポンサー様の判断により中止となりました。ただし、キャンセル料を差し引いた残金内でビーチハンドボールの普及イベントを令和4年度内で開催を計画しております。年度計画時、集客が見込める神奈川県三浦市にて第23回全日本ビーチハンドボール選手権大会開催を予定しておりましたが、コロナの影響により海岸の使用が禁止となったため、急遽愛知県碧南市へ開催地を変更することとなりました。コロナで多くの大会が中止となる中、関係者の皆様の協力によって、コロナ感染者を出すことなく、コロナ禍での大会運営をすることができました。昨年に続き無観客での大会ということで、クラウドファンディングにより資金を調達し、日テレアックスオン様と協業でネット配信はじめ、演出を担当していただき大会を盛り上げることができました。

※ 目標金額 1,500,000 円に対して、延べ 102 人の支援者様から 1,088,000 円のご支援をいただくことができました

(3) ビーチハンドボールプロジェクト

SHIBUYA ビーチハンドボールフェスタ

渋谷区立宮下公園内ビーチコートに於いて、委託先のジャパンビーチハンドボール普及委員会にて6回の普及イベントを実施。

7. 総務に関する事業

1) 諸会議の開催

コロナ禍のため、Web 会議を主体に会議を実施。

- (1) 評議員会 6/30、7/17(臨時)、3/6(臨時)、11/15 (臨時)
- (2) 理事会 4/10 (臨時)、5/24 (臨時・書面)、6/11、6/15 (臨時)、6/18 (臨時・書面)、6/20 (臨時)、6/26 (臨時)、7/3、7/15 (臨時・書面)、10/22(臨時・書面)、11/22 (臨時・書面)、11/13、2/12、2/28 (臨時・書面)
- (3) 常務理事会 4/10、5/15、9/4、11/9、12/11、1/15、3/12
- (4) 全国理事長会議 9/24、2/13

2) 新型コロナ禍対応

- (1) 事務局業務 在宅勤務（リモート業務）を採用。

3) 「がんばれハンドボール 20 万人会」サポート会

- (1) 2021 年度末をもって新規会員募集を停止、2022 年度末をもって解散への準備完了。

- (2) 2021 年度サポート会員総数（2022 年 3 月 31 日現在（カッコ内は前年比）

特別会員	0 名	(±0)
グランド会員	63 名	(▲47)
フレンド会員 (旧ファミリー会員)	12 名	(▲6)
ジュニア会員	0 名	(▲2)
都道府県フレンド会員 (旧都道府県ファミリー会員)	0 名	(▲58)
都道府県グループ会員	315 名	(▲5,728)
総数	390 名	(▲5,841)

8. 財務・会計に関する事項

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、安全性に留意しつつ事業が再開となった。また、日本リーグ事業が8月1日より別法人（一般社団法人日本ハンドボールリーグ）で運営されることとなった。

経常収益は、全国大会の再開とともに登録者が回復した一方、東京2020に向けた強化特別支援金が前年度で終了したことに加え、日本リーグが別法人運営となったことで日本リーグ加盟分担金が無くなったことにより、受取会費が前年度比123百万円減少の177百万円となった。同様に日本リーグの開催権料収入やマーケティング収入も無くなったことにより、事業収入が前年度比98百万円減少の141百万円、受取補助金等は前年度と概ね同額の123百万円となり、経常収益は前年度比252百万円減少の470百万円となった。

経常費用は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業規模の縮小により前年度比37百万円減少の401百万円となった。

その結果、当期経常増減額は、前期比209百万円減少の△35百万円となった。

また、特定資産については、日本協会主催国際大会（JAPANCUP）の実施、男女日本代表の国内強化合宿の実施、外国籍指導者経費の支払い、日本リーグの別法人化により151百万円を取り崩し、次期以降の事業伴う積立として120百万円を新たに積立て、当期末残高284百万円となった。

9. スポーツ・インテグリティに関する事項

男女代表においては 2021 年度 JOC インテグリティ教育推進事業に則って計画したが、その多くがコロナ禍により計画変更となった。アンダーカテゴリーにおいてもほとんどの合宿が中止となったが 3 カテゴリーの集合合宿にてインテグリティ教育を実施。

1) オリンピック強化指定選手向け（オンライン研修）

(1) 基礎研修プログラム

- ・7月7日 女子 1名
- ・11月10日 女子 1名、男子 1名

(2) 講師派遣研修プログラム ・NF 個別プログラム

【男子日本代表】

- ・4月12日合宿 スポーツ・インテグリティ・行動規範（スタッフ7名、選手20名）
- ・4月26日合宿 アンチ・ドーピング（スタッフ5名、選手20名）
- ・12月15日合宿 スポーツ・インテグリティ・行動規範（スタッフ5名、選手22名）
アンチ・ドーピング（スタッフ5名、選手20名）
- ・7月13日 日本選手団向けプログラム（選手13名）

【女子日本代表】

- ・4月5日合宿 行動規範とモラルについて（スタッフ9名、選手23名）
アンチ・ドーピング・感染症対策について
 - ・7月7日合宿 Team Japan プログラム：JOC 派遣講師（選手19名）
 - ・9月7日合宿 行動規範・スポーツ・インテグリティ（スタッフ6名、選手14名）
 - ・11月16日合宿 行動規範・メディア研修・肖像権研修・帰国後自主規制について
（スタッフ8名、選手22名）
 - ・11月18日合宿 アンチ・ドーピング（スタッフ8名、選手22名）
- (3) オンライン研修プログラム（JOC アスリートアプリ）各自申込
ランキング 12位/60団体（2022年3月31日時点）
- (4) 自由参加型プログラム参加斡旋（選手、スタッフ）

2) ナショナルコーチ・JOC 強化スタッフ向けプログラム

- (1) オンライン研修プログラム（JOC アスリートアプリ）各自申込
ランキング 12位/60団体（2022年3月31日時点）

3) その他選手・指導者向け

NF 強化指定選手、ジュニア選手、所属・地域の指導者等対象

(1) 講師派遣研修プログラム ・NF 個別プログラム

【男子アンダー日本代表】

- ・U-16 10月合宿 日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング
（コロナ禍により合宿中止）
- ・U-19 12月8日 日本代表としての行動規範（スタッフ5名、選手25名）
- ・U-21 3月14日 日本代表としての行動規範（スタッフ5名、選手25名）

【女子アンダー日本代表】

- ・U-16 10月合宿 日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング
（コロナ禍により合宿中止）
 - ・U-18 4月～ 日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング
（コロナ禍により合宿中止）
 - ・U-20 11月26日 日本代表としての行動規範（スタッフ6名、選手23名）
- (2) 自由参加型プログラム参加斡旋（スタッフ）

4) NF 担当者向け

- ・11月30日 第1回 JOC-NF インテグリティ教育推進チーム会議
担当者インテグリティオフィサー・競技種別担当者個別ミーティング
- ・5月18日 インテグリティオフィサー・競技種別個別ミーティング

5) アンチ・ドーピングアウトリーチ活動

- (1) 第73回日本ハンドボール選手権（男子の部）
期日：12月1日～12月5日 アウトリーチ担当：スタッフ2名
場所：大阪府・大浜公園体育館
- (2) JOC ジュニアオリンピックカップ（ハンドボール競技）
期日：12月22日～12月24日 アウトリーチ担当：スタッフ3名
場所：徳島県・アミノバリューホール
- (3) 第73回日本ハンドボール選手権（女子の部）
期日：1月5日～1月9日 アウトリーチ担当：スタッフ3名
場所：熊本県・山鹿市総合体育館／菊池市総合体育館

6) ドーピング検査（NFR 派遣）

- (1) 第73回日本ハンドボール選手権（男子の部）
期日：12月1日～12月5日 NFR：1名派遣
場所：大阪府・大浜公園体育館
- (2) 第73回日本ハンドボール選手権（女子の部）
期日：1月5日～1月9日 NFR：1名派遣
場所：熊本県・山鹿市総合体育館

7) ガバナンス・コンプライアンス

スポーツ団体ガバナンスコード遵守に向けた取り組み

- (1) 適合性審査（本審査）受検 要改善事項：該当なし
- (2) 規程類の整備を順次実施

10. 広報に関する事業

1) 記者会見

4/17：ダグル監督（リモート）、4/2：ウルリック監督（リモート）、5/19：ウルリック監督・選手5名 欧州遠征（リモート）、6/8：ダグル監督・選手5名（リモート）、6/23：東京オリンピック女子代表選手内定発表会見（対面&ネット配信）、6/27：東京オリンピック男子代表選手内定発表会見（対面&ネット配信）、7/3：JHA 新体制及びVM/行動規範発表（リモート）、7/4：東京オリンピック女子代表選手（リモート）、7/10：東京オリンピック男子代表選手（リモート）、9/7：女子代表新監督就任記者会見、10/18：女子代表楠本監督（リモート）、11/12：女子世界選手権派遣選手（リモート）、12/15：男子アジア選手権派遣選手（リモート）
*コロナウイルス感染対策のため、リモートで開催が多数。

2) 主要な大会・関連取材・情報提供

7/18-19：JAPANCUP2021、7/24-8/8：東京オリンピック、8/28：日本リーグ開幕、10/30：全日本ビーチハンドボール選手権、11/6-10：全日本学生選手権、12/1-5：日本選手権（男子の部）、12/1-19：女子世界選手権、12/23-26：JOC ジュニアオリンピックカップ、1/5-9：日本選手権（女子の部）、3/18-20：日本リーグプレーオフ、3/24-29：全国高校選抜、3/26-29：春の全国中学生大会

3) その他

- (1) 代表合宿メディア公開 *コロナウイルス感染対策のため、実施せず。
- (2) ハンドボールサロン *コロナウイルス感染対策のため、実施せず。
- (3) プレスリリース（ホームページ、メール）
男女日本代表情報、取材案内、国内大会結果配信、新規協賛など実施。
- (4) 個別取材対応（選手、審判員等）

4) SNS

JHA Facebook、JHA Twitter、JHA Instagram、日本代表 Twitter、日本代表 Instagram、YouTube に加え、TikTok（JHA・JHL 共同アカウント）を開設。

※ 4/20 時点のフォロワー数

JHA Facebook=11,573、JHA Twitter=9,054、JHA Instagram=14,246、

日本代表 Twitter=10,053、日本代表 Instagram=9,632、YouTube=13,012、TikTok=69,100

日本選手権（男子の部、女子の部）、男女代表国際大会、全国高校選抜大会、春の全国中学生大会での機運醸成投稿（カウントダウン、試合告知、結果速報等）実施。

5) 試合放映

地上波テレビ中継 : 日本選手権（男子の部） 決勝 = NHK Eテレ

インターネット動画配信 : JAPANCUP2021、全日本ビーチハンドボール選手権、

日本選手権（男子の部、女子の部）、全国高校選抜大会

6) 機関誌

2021年4月号 (No. 609) をもって発行終了

12. マーケティングに関する事業

1) マーケティング収入

収入予算 (150 百万円) に対して実績 90.2% (前年比 81.0%)。

2) 協賛社との契約など

(1) 既存スポンサーの契約更新及び継続。

ゴールドパートナー1社、オフィシャルスポンサー4社

オフィシャルサプライヤー1社

(2) 既存スポンサーとの契約終了。

オフィシャルパートナー1社、オフィシャルスポンサー3社

オフィシャルサプライヤー2社

(3) 2022年度からの日本代表の新ウェアメーカーとの契約。

(4) オフィシャルサプライヤー2社との新規契約。

(5) 2022年度からの日本協会協賛プログラムの作成。

(6) 全日本ビーチ選手権、日本選手権、JAPAN CUP での日本協会スポンサーの権利履行。

(7) 全国高校選抜大会での協賛契約と権利履行。会場販売取りまとめ。

冠協賛1社、協賛3社

会場販売6社

(8) オフィシャルツアーリスト4社による旅行会社登録制度の運用と次年度からのオフィシャルツアーリスト3社による旅行会社登録制度の更新。

13. アスリート支援に関する事業

1) アスリート委員会の設置

(1) アスリート委員会設置のための諸調査を経て、アスリート委員会の設置を完了。

(2) 委員会設置にともない委員会規定を制定。

(3) 委員会初期メンバー構成を完了。

2) 日本ハンドボール協会に相応しい本委員会機能の在り方に関する検討

(1) 前年度に引き続き、アスリート委員会準備委員会において継続検討を実施。

1 競技発展に向けたアスリート機能の可能性について

2 アスリート委員会からの意見具申の在り方について

3 他競技との連携について

4 上部団体との連携について

5 本協会内、他部署との連携について

6 国際的連携について

- 7 アスリート委員会の規程策定について
- 8 アスリート環境調査について（調査範囲の検討）

16. 戦略企画委員会

1) 新会員登録システム「マイハンドボール」

大日本印刷(株)の「DNP スポーツ情報管理サービス」を採用し、ハンドボール関係者の会員情報を一元的に管理するプラットフォームを構築。2021年3月より運用開始。
今後は、登録者の競技体験向上を狙いに、大会記録のデータベース化を進め、登録者が閲覧できる仕組みを構築予定。

2) 戦略的普及・マーケティング（スポーツ産業の成長促進事業）

スポーツ庁の中央競技団体の経営力強化推進事業に採択され、マイハンドボールの構築に加えて以下のプロジェクト（2020年度から4年間）を企画。

(1) 試合スタッツ全網羅 PJT

マイハンドボールの主要機能を段階的にリリース。全国大会など主要大会について大会ページ開設開始。11月の全日本大学選手権でスタッツ記録・蓄積の実証実験実施。

(2) Over18 PJT

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて令和3年度内のイベント開催は見送り。次年度以降にむけたプラン策定に注力、「エンジョイハンドボール」というコンセプトを打ち出し、中期計画にも盛り込み。

(3) 指導者・審判・競技役員サポート PJT

コンプライアンス研修を題材としたトライアル実施。理事や職員等43名が受講。コンテンツの内容や難易度も「丁度良い」の回答が多数。

(4) 動画再活用 PJT

JHL 各試合の集客・視聴促進に向けて、マンスリーハイライト映像制作/発信。

JHL プレーオフの集客・視聴促進に向けて以下施策を実施。

- ・プロモーション映像制作
- ・会場オープニング映像制作
- ・プレーオフ出場チーム別ベストプレーTOP5 ハイライト映像制作
- ・プロモーション映像を活用した WEB/SNS 広告配信

(5) 攻めの広報 PJT

- ・初心者向けハンドボールルール解説用バナー制作
- ・JHL サイトリニューアル
※初心者向けハンドボールルール解説バナー掲載のページ制作
- ・マイハンドボール会員加入促進用特典壁紙制作
- ・日本代表広報用試合告知 バナーテンプレート制作
- ・シンボルハンドボーラー記事作成及び告知用映像制作
- ・日本代表密着映像制作用 映像テンプレート制作